

令和2年度 第2回 京都府域渋滞対策協議会

議事要旨

開催日：令和3年2月25日（木）

時間：10:00～11:50

場所：Web会議

■ 議題

- | | |
|---------------------------------|-----|
| (1) 京都府域渋滞対策協議会の経緯 | 資料1 |
| (2) 新型コロナウイルス感染拡大による交通状況等の変化 | 資料2 |
| (3) 主要渋滞箇所の特定解除・特定解除候補選定 | 資料3 |
| (4) 対策実施箇所の効果検証 | 資料4 |
| (5) コロナ禍下における交通状況変化を踏まえた渋滞対策の検討 | 資料5 |
| (6) 今後の進め方 | 資料6 |
| (7) その他 | |

■ 議事概要

- 議事（1）について、資料に基づき事務局から説明し、了承された。
なお、以下の意見があった。
 - ✓ 主要渋滞箇所の特定解除に向けた調査に際しては、交通量だけでなく、交通容量の確認や ETC2.0・管制データ等を活用した要因分析なども行い、検討した方がよいと考える。
- 議事（2）にて、新型コロナウイルスを踏まえた交通状況の変化に関し、事務局から交通量等の状況について報告するとともに、各団体から現状について意見を伺った。また、今後も交通状況への影響について注視し、状況把握に努めることを確認した。

各団体等からの意見は以下のとおり。

- ✓ 通販・宅配便など一部の事業を除いて、貨物輸送量は減少傾向にあるが、昨年5月の状況と現在を比較すると、減少割合は低くなってきている。
 - ✓ 観光業界の傾向としては、団体旅行が減少し個人旅行の増加がみられ、それに伴いマイカーによる旅行が増えている。
 - ✓ 貸切バスやタクシーの稼働状況は、観光客数の傾向と同様に、Go to トラベルの影響もあり回復傾向にあったが、2度目の緊急事態宣言で再度落ち込んだ。例年GW明けから修学旅行客が増加するが、今年は秋に需要が移行するのではないかと予測している。ただし修学旅行が戻ってくるか否かは Go to トラベルの再開が目安となってくると思料。
 - ✓ 経済全体の状況としては、大企業については、巣籠需要などで業種によっては回復しているが、中小企業については依然厳しい状況がみられる。
 - ✓ 対前年比でコロナ禍による交通量の増減をとらえているが、もう少し長いスパン（3～4年）での経時変化をとらえることも重要だと考える。
- 議事（3）－1にて、本年度の特定解除候補箇所の調査結果・道路利用者等へのヒアリング結果を説明し、『天王町交差点』について特定解除する提案を行い、了承された。

なお、以下の意見があった。

- ✓ 『天王町交差点』の渋滞改善の要因として、『蹴上交差点』を含む『一般府道四ノ宮四ツ塚線』の道路拡幅事業による、交通容量の拡大や、交通の分散も一因として考えられる。

- 議事（３）－２にて、来年度の特定解除候補箇所について４カ所を提案し了承された。
なお、以下の意見があった。
 - ✓ 主要渋滞箇所の特定解除については、こういった要因で渋滞が改善されているのかも合わせて、分析する必要があると考える。

- 議事（４）～（６）について、資料に基づき事務局から説明し、了承された。
なお、以下の意見があった。
 - ✓ ソフト施策等による渋滞対策を検討するにあたり、車線運用を見直すことにより渋滞が解消することも考えられるため、対策として検討して頂きたい。また協議会資料４のETC2.0データ分析においては、サンプル数を記載して欲しい。